

ミライエの装置について

1. 堆肥化装置



〔 ミライエの堆肥化装置 〕



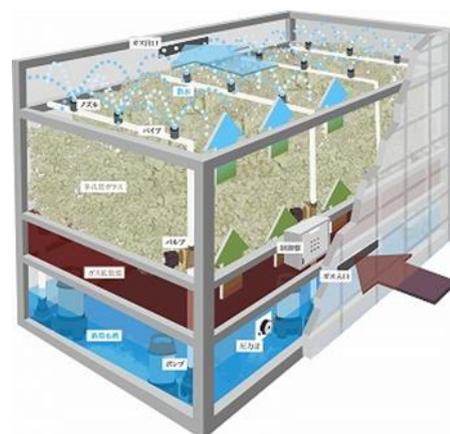
〔 ミライエの堆肥化装置による
堆肥化の仕組み 〕

目詰まりしにくい微細な穴を持つ特殊形状ノズルから、高圧空気を堆肥原料内部に噴出させる堆肥化装置です。堆積した廃棄物内部から全体に酸素を供給でき、従来の堆肥化装置で必要な攪拌作業を必要としないことから、コストの削減や攪拌による悪臭の拡散を抑制しつつ、良質な堆肥製造が可能となります。

2. 脱臭装置



〔 脱臭装置の外観 〕



〔 装置の内部構造 〕

臭気成分を分解する微生物を長期間変質しない多孔質ガラス※に定着させた脱臭装置です。臭気成分を分解するために必要なおが粉や薬品等の消耗品のコストや交換の手間がかからず、また、無数の微細な穴があり表面積が大きい多孔質ガラスに高濃度で微生物を定着できるため、従来の脱臭装置と比べ最大7倍の脱臭効果を実現しています。

※廃ガラス瓶を粉碎し貝殻と混焼して生成したガラス。今後は廃ガラス瓶のほか、廃棄太陽光パネルのガラスリサイクル材の利用も予定されています。